

銅鐸祭祀は縄文時代の信仰を継承した祭りだったのではないか。

縄文と弥生の信仰の根底を探る。

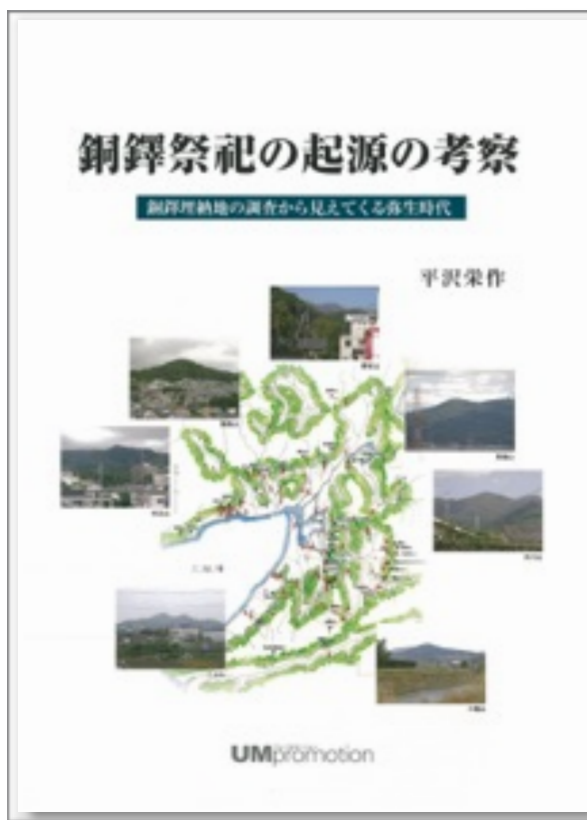
定年退職後、少年時代の夢だった考古学研究を始めた著者。

全国の約 300 銅鐸埋納地を 3 年にわたって現地調査し、実証した。

銅鐸祭祀の起源の考察

銅鐸埋納地の調査から見えてくる弥生時代

平沢 栄作



定価：本体価格¥4000+税

A4判、本文248p、並製

ISBN978-4-944163-47-2

<著者略歴>

平沢 栄作（ひらさわ・えいさく）

1943 年 新潟県小千谷市生まれ

1966 年 京都大学工学部合成化学科卒業1966～2003 年

・三井化学（株）に勤務（三井・デュポンポリケミカル（株）、藤森工業（株）出向）研究職として高分子の研究、テクニカルセンター所長など歴任。

・主な著書『アイオノマー・イオン性高分子材料』CMC 出版 2003 年、共著『分子コーティング』近代編集社 1985 年

発行：株式会社アム・プロモーション

〒108-0074 東京都港区高輪2-1-13-205

TEL03-5449-7033 / FAX03-5449-2023

<http://www.musee-umpromotion.com> E-mail um@cia.co.jp